

令和7年7月1日

保護者 様

上三川町立上三川小学校長 平塚 昭仁

熱中症対策について

日頃より、保護者の皆様には本校の教育活動につきまして、御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今後、夏にかけて暑さがますます厳しくなり熱中症の心配が高まってきます。

つきましては、以下のとおり熱中症対策を講じていきます。保護者の皆様と対策を共有することで、児童の熱中症にかかるリスクを少しでも減らしていきたいと考えておりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

1 運動に関する指針

- (1) 屋外や体育館で体育、休み時間の校庭遊び、徒歩での校外学習等については、職員室前及び体育館にある暑さ指数（WBGT）モニターを確認し、その数値によって活動を実施するかどうか判断しています。
- (2) 暑さ指数（WBGT）の数値によって運動の制限等が設けられています。

【暑さ指数（WBGT）】

3.1以上	運動は原則中止	2.8～3.1	厳重警戒(激しい運動中止)
2.5～2.8	警戒(積極的に休息)	2.1～2.5	注意(積極的に水分補給)
2.1未満	ほぼ安全(適宜水分補給)		

※（公財）日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」より

- (3) 暑さ指数が3.1を超えた場合には、校内放送で全児童に体育、外での遊び、徒歩での校外学習等ができないことを伝えています。

2 水泳の授業に関する指針

- (1) 水泳の学習は、「気温が35度、または水温が32度を超えた場合」「気温と水温の合計が65度を超えた場合」中止としています。
- (2) 暑い時期は、お昼前後に(1)の基準を上回ってしまう場合が多いため、水泳の学習は1～3時間目を実施できるようプール使用割当を作成しています。

3 水分補給・クーラーの使用

- (1) 体育（水泳を含む）の授業には水筒を持参させ適宜、水分補給の時間をとっています。また、下校前や登下校の途中、その他適宜、水分補給をするよう声をかけています。
- (2) 教室では、クーラーを使用し熱中症対策をしています。また、10月には、体育館のクーラー設置工事が開始されます。使用は来年度からとなります。

4 熱中症対策グッズの使用（6/2 すぐーる配信「熱中症対策について」の再掲）

※熱中症対策のグッズは、学校で使用を強制するものではありません。

- (1) 水筒

暑い期間はなるべく持たせてください。中身は水、お茶、スポーツドリンク等、保護者の判断でお願いします。学校では、友達にあげたり友達からもらったりはしません。登下校中に水分補給をする場合は立ち止まり（班全員）、端に寄るなど他の通行者の邪魔にならないよう水分補給します。

